

# 石見 利勝

前姫路市長

Toshikatsu Iwami



Hideyasu Kiyomoto

# 清元 秀泰

姫路市長



## 防災の観点からも病院と文コンはベストマッチ

**清元** 大勢の市民の皆さんからご支援いただいて市長に就任してから早8カ月が経過しました。同時に石見前市長もご勇退されて同じ月日が経ちました。石見前市長には市政へ大所高所からご意見をいただくために市の参与に就いていただくとともに、生涯学習大学の名誉学長としても活躍いただいているわけですが、どのような毎日を過ごされていますか？

**石見** 生涯学習大学へは月曜と金曜に出勤しています。この授業は非常に面白いので、私もここで得たヒントが市民のニーズに応える重要な施策に反映できるんじゃないかと、いつも考えを巡らせていましたね。それに時々、特別講義もさせてもらっているんです。空きの火水木曜はこれまで疎遠になってきた皆さんとの交流に充てています。「市長を辞めたら陶芸と農業をやる」と言っていたんです。これがなかなか大変で、腰を据えて取り組むところまで至っておりません。普段から結構街に出ていっていますよ。清元市長は市長になられて、どのような感想を持たれていましたか？

**清元** 現時点では正直申しまして、石見市政の事業を完遂すべく前進するのが精一杯というところですね。令和元年度の事業はほとんどが石見市政からの継続案件ばかりなので、まだ何の独自性も出せていないなと思っています。

**石見** それでも夏には庁舎の空調設定を28度から25度に下げ、全国的にも大きな話題になりました。この発想は今まではなかった事ですね。

**清元** ありがたうございます。これは、市役所の温度を下ければ職員の仕事効率も上がるんじゃないかと考えて始めたプロジェクトなんです。実は、この検証結果を今年の夏に子どもたちの教育環境の改善に繋げたいと考えています。

さらにその延長線上なんです。今度学校トイレの洋式便座化とドライ化についても取り組み始めています。入学したての児童が「和式のトイレが怖い」と言っていたのが、嫌がるのか、学校が避難所になった時に特に女性が「和式は苦手」という事をおっしゃるので、市立小中学校を洋式化しているところなんです。

このような施策へ手が打てるのも、石見市政が小中学校へのエアコン設置の予算を真っ先に付けてくださったからなんです。非常に補助金率の高い予算を国から取っていただいた。石見、やはり、行政は継続性が大事なんです。私が市長に就いた時、一番気を付けたのは、市長が変わったからと言って政策をコロコロと変えては絶対いけないという事。前市長が残されたいろんな政策を全部踏襲したんです。私は16年間やってきたので、踏襲していただく事が結構多いと思います。それからよくお願いしますね。

ただし、清元市長は医療や福祉、教育の専門家です。これから一層拍車がかかる長寿社会で思う存分本領を発揮してください。ちょうど今、イベントゾーンでは兵庫県で一番大きな新県立病院が建設中ですから。

**清元** イベントゾーンを教育や産業の振興に繋げていくのは当然なのですが、私は文化コンベンションセンター（文コン）の横に市民の命の、最後の砦となる医療拠点を持ってきたという事は石見参与の大英断だと思います。

というのも、私が石巻市で経験した事なんです。大規模災害時には病院の収容人数を越えて皆さんが押し寄せてきます。すると、結局は駐車場に大きなテントを建ててトリアージポスト（治療前に負傷者の重傷度・緊急度を判断する場所）を構える事になるんですね。ところが、この文コンがあるので、患者さんたちが場合によっては夜を明かさないとけない時には非常に助かるのです。

**石見** 収容能力を補完できるのは私も良かったと思います。それともう一つ。病院滞在中のクオリティ・オブ・ライフ（QOL＝生活の質）の事も考えたんです。治療の合間に音楽を聴きに行ったり展示会を見に行ったりして心の平穏を保つてもらえると。そういう事もちょっと考えました。

**清元** 新県立病院は3次病院ですので、在院日数は恐らく2週間を切りますから、患者さん自身はなかなか行く時間がないかも知れませんが、看病しやすさが落ち込んでいるご家族の方々がふと行ける場所があるという事は重要な事だと思います。病人も大事ですが、看病する人を癒やすのも病院の大事な機能なんです。

もう一つ、大規模災害の被災地にはありとあらゆる支援物資がどーんと送られてくるのですが、それらを仕分ける作業場も必要になるんです。姫路の新県立病院と文コンは駅の間に建つわけですから、鉄道が動かせばすぐに支援物資も集まり、播但線や姫新線に乗せて効率的に配達する事もできます。まさに防災機能の観点から言っても病院と文コンは最高の組み合わせだと思います。

## 「天地人」の総合力で播磨のリーダーに

**石見** 私も市長になった頃は国の補助金を取りまくりました。初めは「姫路だけそんなに取って良いのか、平等であるべきじゃないのか」と自問自答したのですけれど、やがて「それは違う」という結論に達しました。各自自治体が頑張って補助金を取り合っていて、そのためにとことん知恵比べした結果が、結局は国全体に波及する。だから姫路ももっと知恵を出して、国に「それは面白い！」と思わせるような補助金を獲得していただく。

**清元** つまり、新しい事業のモデル都市になるという事ですね。それに関して、私も就任以來何度も国交省へお邪魔しているんですけど、石見参与が凄かったなと思うのは、国交省の幹部が口を揃えて「姫路の駅前（居心地が良く歩きやすい）街として日本中のモデルにしています」と言っています。ウォークアブル推進都市の最先端事例に姫路が紹介されているんです。この事を厚労省で話したら、強く関心を示してくれました。なぜかと言いますが、少し前までは食べるばかりで運動しなければメタボになったり、ロコモティブ症候群といった、歩けなくなると途端に認知能力が下がるという事を指摘し始めたんですね。だから、歩くという事を一番に推奨しているんです。

**石見** 今後はこの病院と文コンを中心に市民のQOLを高めていく事が市政の至上命題になります。ですから、このタイミングで清元市長が実現したという事は姫路市にとって本当にラッキーだと喜んでいますが。

**清元** ありがたいことです。病院そのものは神戸大学が中心となって運営していきます。じゃあ、市に何が求められているのかと言うと、最も重要な人材育成なんです。どんな最新鋭の設備を持った病院でも段々と古くなっていきます。だから私たちは、次の10年先、さらにその次の10年先を見据えて、その時代、その地域に必要なとなる医師や看護師、薬剤師、検査技師たちをいかに育成していくか、だと思っています。

**石見** まさにイベントゾーンの最初の目的である医工の連携が始まる。それが新しい産業の創出にも繋がりが、その新産業で医療福祉を向上させていく。このブランドデザインを着実に遂行していかないと。

**清元** はい。石見市政が道筋を付けた医療系高等教育・研究機構を県、獨協学園と一緒に進めていこうと決意です。

ところで文コンは早くも鉄骨が組み上がってきましたね。完成が楽しみです。オープン後の姿をどのように思い描いていますか？

**石見** 姫路は駅からお城まで800m。人は500m位なら難なく歩きますが、800mになると少し頑張らねといふ。今日の病院も800m。姫路は歩き回れる街という事を都市計画の基本にずっと考えていましたので、ちょうど良いですね。

私は大手前通りを「あれは道路と違うので、公園通りや」という意識で整備したんです。だからスタスタ通り過ぎるんじゃないです。だから「目指すはシャンゼリゼ」をコンセプトに、商店街の人たちが立ち上げた大手前通り活性化協議会にいろいろワゴンやお店を出してもらって「ミチミチ・プロジェクト」という社会実験を昨年11月の1カ月間実施したんです。これを5カ年計画で続けるのですが、官が主導すると「過性のイベントが広まれば良いのですが」。

**清元** 駅からお城まで続く通りはまさにエモーショナル。やはり歩いても店が少なく寂しいですね。だから「目指すはシャンゼリゼ」をコンセプトに、商店街の人たちが立ち上げた大手前通り活性化協議会にいろいろワゴンやお店を出してもらって「ミチミチ・プロジェクト」という社会実験を昨年11月の1カ月間実施したんです。これを5カ年計画で続けるのですが、官が主導すると「過性のイベントが広まれば良いのですが」。

**石見** おっしゃる通り、実施したら単なるイベントで終わってしまう事が多々あります。ですので、民の参加に対して官が強力に支援するという形に持っていくと考えると、この間に商店街の皆さんには観光で儲ける体制を整えていってほしいと願っています。

**石見** おっしゃる通り、実施したら単なるイベントで終わってしまう事が多々あります。ですので、民の参加に対して官が強力に支援するという形に持っていくと考えると、この間に商店街の皆さんには観光で儲ける体制を整えていってほしいと願っています。

**石見** 私が市長に初当選した頃はちょうどJR姫路駅の高架化が完成しようという時期でした。それが完成すると今度は播磨全体を元気にする大きな枠組み、8市8町の播磨圏域中核都市構想に注力してきました。これからは、いよいよそれに血を通わせ、肉を付けていかなければなりません。要するにソフトウエア、人材育成が望まれるという時に清元市政を誕生させたという事で、市民の皆さんの選択に改めて感謝します。

**清元** 清元市長にはこれまでの専門を活かして、8市8町の先頭にも立っていただきたい。地方分権時代という。天の時、世界から脚光を浴びる城があるという。地の利、そして最後に優秀な3800人の職員という。人の和がある。3つの条件が揃った総合力でもって、歴史ある播磨の発展の中心として頑張ってください。

**清元** 温かいお言葉をありがとうございます。姫路市民のためには「お城を縁に市民交流をやりましよ」と言われて嬉しく感じました。それで「子どもたちの交流をやりよ」とも言ってくれたんです。

**清元** 現地の市民と話す、姫



**石見** そうですね。これは私が大学教授時代に実施した調査なんです。毎日のおんぴりと暮らしている人と忙しく過ごしている人、いずれも65歳以上の方を対象にどっちが幸せなのか「幸せ度」を計算してみたいんです。すると、多忙の方が圧倒的に幸せだという事が分かりました。ですから、市長になってからは「全員参加」を提唱してきました。つまり、市民が公民館活動や生涯学習活動にどんなに参加するよう仕組まないと、多忙な市民が中心になっていったんです。

その効果もあって皆さん、絵や字を習ったり、焼き物をして、歌を歌ったりと活動も段々と活発になっていったんです。が、やっぱりこれは密室で黙々とやっているだけではアカンので、大人にも発表の場を作っていかないと。文コンでは高貴な文化イベントもやっていただくのが、市民の発表の場としてもとことん活用してもらいたいという希望を強く持っています。

**清元** 公民館活動は大事ですね。私も時間が限られるべく色々な活動や発表会を観て回るよう努めているのですが、驚くべき才能をお持ちの方が沢山いらっしゃるから。石見参与がおっしゃる通り、生涯現役で文化活動を続けていってほしいと願っています。

**石見** 私がお城に行った時には「お城を縁に市民交流をやりましよ」と言われて嬉しく感じました。それで「子どもたちの交流をやりよ」とも言ってくれたんです。

**清元** 現地の市民と話す、姫